

令和 8 年熊本地震における被災市町への応援職員の派遣

令和 8 年 8 月 4 日(0 7 時 0 0 分現在)
総 務 省 公 務 員 部

応援職員の派遣状況（速報であり、数値等は今後もあることがある。）

被災市町	応援職員派遣団体					
	総括支援団体	活動開始時期	派遣人数	対口支援団体	活動開始時期	派遣人数
熊本市	-	-	-	埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、 山梨県、札幌市、仙台市、さいたま市、 千葉市、川崎市、新潟市、静岡市、 浜松市、名古屋市、京都市、大阪市、 堺市、神戸市、岡山市、広島市、 福岡市	7 月 3 1 日	1 8 4 人
八代市	大分県	7 月 2 9 日	3 人	大分県、福井県、大阪府、岡山県、 山口県、長崎県、 鹿児島県、沖縄県、北九州市	8 月 1 日	1 1 9 人
宇土市	福岡県	7 月 2 9 日	3 人	福岡県、滋賀県、京都府、徳島県、 香川県	7 月 3 0 日	3 5 人
宇城市	福岡市	7 月 2 9 日	3 人	福岡市、富山県、石川県、長野県、 岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、 兵庫県、奈良県、和歌山県、宮崎県	8 月 1 日	1 7 5 人
美里町	長崎県	7 月 2 9 日	3 人	長崎県	8 月 1 日	1 6 人
氷川町	佐賀県	7 月 2 9 日	2 人	佐賀県、鳥取県、島根県、広島県、 愛媛県、高知県	7 月 2 9 日	9 4 人
6 市町	5 県市		1 4 人	5 2 都府県市		6 2 3 人

総括支援団体：被災状況及び現地の応援ニーズの確認、災害マネジメント支援のための専門チーム派遣を行う団体

対口支援団体：避難所の運営・罹災証明書の交付等の災害対応業務を担うマンパワー派遣を行う団体

- ※ 総括支援チームを派遣している場合は原則として同一団体から対口支援チームを派遣
- ※ 応援職員派遣団体の都道府県には、域内市町村職員を含む
- ※ 「 - 」は調整中の項目
- ※ 対口支援団体の「派遣人数」は派遣予定人数

令和 8 年熊本地震への対応（8月4日(火) 時点）

1. エネルギー・インフラの状況

状況

電力	熊本県で約4.9万戸が停電。31日(金)に高圧線の停電は復旧済み。低圧線・引込線が原因の停電は、連絡いただき次第当日～翌日の解消を目指す。 (九州電力送配電が24時間体制の相談窓口を設置。約1,300名の停電対応体制を維持。このほか、九州域内の約3,800者の電気工事業者が連携し対応する体制を構築。) うとし うきし くまもとし やつしろし ひかわちよう くまもとし ましきまち かしまち みふねまち こうさまち みさとまち やまとちよう (九州電力送配電相談窓口 宇土市、宇城市、熊本市南区 0800-777-9436、八代市、氷川町 0800-777-9437、熊本市東区、益城町、嘉島町、御船町、甲佐町、美里町、山都町 0800-777-9435、熊本県電気工事業工業組合相談窓口 096-382-2171)
発電所	火力発電所※1・原子力発電所※2ともに、運転継続中。 ※1：九電・電源開発保有の発電所、※2：川内①②号機・玄海④号機
都市ガス・LP	都市ガス 八代市 ^{やつしろし} で約8,900戸供給停止のうち、約2,700戸で供給再開済。 市街地北部区域(約3,000戸)：液状化により導管の損傷個所が多いことが新たに判明した区域(約300戸)を除き、3日(月)に供給再開済※。 市街地南部区域(約5,900戸)：液状化により導管の損傷個所が多いと見込まれるため、少なくとも1～2週間程度を要する見通し。 ※家屋倒壊の3戸を除く 事業者にて、要請のあった病院や避難所への移動式ガス発生装置の配備を実施。希望されるご家庭にはカセットコンロを配布。
SS（ガソリンスタンド）	営業中64（対象：被害の大きかった八代市、宇城市、氷川町 ^{やつしろし うきし ひかわちよう} のガソリンスタンド(73か所その他3か所は閉業。)) 八代の出荷基地からの出荷再開により、通常時の最大4倍の供給力を確保。ガソリン販売量の制限も、ほぼ全てのガソリンスタンドで解除。

2. 物資支援

- 被害の大きかった八代市、宇城市、宇土市、氷川町^{やつしろし うきし うとし ひかわちよう}で8割以上のコンビニ（85店舗/100店舗）が営業。当該4市町等の被災地域の物流改善に向け、優先的な迂回ルート等をコンビニ各社に伝達し、活用開始。県内のコンビニ等全体787店舗中、休業店舗数は、29日(水)時点で211店舗⇒3日(月)10時時点で28店舗⇒4日(火)10時時点で20店舗
- 業務用エアコンは9か所要請、うち3か所で設置済、さらに2か所で設置中、4か所は調査中。循環型シャワーは39台設置済。さらに80台が熊本市に到着。
仮設・簡易トイレや段ボールベッド、熱中症対策用品、衛生用品、ブルーシート等についても順次熊本の物流拠点に到着。大手物流会社による配送支援もトラック24台まで拡大

3. 中小企業・小規模事業者への支援

◆ 災害救助法の適用
(熊本県10市10町1村に適用)

➡

◆ 相談窓口（20か所）を設置
◆ 資金繰り支援等*を実施

※①災害復旧貸付等の実施、②セーフティネット保証4号（100％保証）の適用、
③既往債務の返済条件緩和等の対応、④小規模企業共済災害貸付の適用

4. サプライチェーンの状況

- 一部の半導体関連工場では、設備等の確認・点検のため操業を停止していたが、TSMC熊本や三菱電機、ルネサスなど、稼働を再開している工場も増加。
- 一部の自動車部品工場において、設備等に被害が発生し操業を停止していたが、アイシン九州は8/2から一部部品の生産を再開。
一部の自動車OEMでは、部品メーカーの被害状況の確認等を優先し、生産を一部停止（8/8～8/16自動車メーカーはお盆休みのため非稼働）。

※ 4日(火)時点で、経産省本省14名・九州経産局5名・九州保安監督部5名、合計24名を熊本県庁・市町の現場へ派遣。

■インフラ復旧

○TEC-FORCEの活動

被災状況調査班等 5市町 23班派遣 (84人)

①宇城市 [河川・道路] (8/1～8/4) 調査完了→11:00 手渡し式

・宇城市小川地区 (旧小川町) の被災状況の現地調査

河川班:14河川 道路班:18路線

※応急工事に向け技術支援及び跨道橋1橋 (九州自動車道) の被災状況調査

②氷川町 [河川] (8/1～8/4) 調査完了→11:00 手渡し式

・氷川町内5河川での被災状況の現地調査

③八代市 [河川・道路] (8/1～8/4) 調査完了→14:30 手渡し式

・二見川支川下大野川の2次支川4河川)

・泉支所より土砂災害箇所での現地確認

・15橋梁にて被災状況の調査を実施

④甲佐町 [道路] (本日調査完了予定) (8/1～8/4) 調査完了→11:30 手渡し式

・土砂災害箇所の現地確認 (2箇所)

○直轄施設 (河川、道路、港湾など)

(1) 高速道路、直轄国道

・高速道路

E3A 南九州道 (八代JCT～田浦IC) :3区間:道路損壊、橋梁損傷

※日奈久IC～田浦IC:1区間:緊急車両通行可。特に日奈久IC上り線出口のルートが複雑なため
通行時は注意が必要。

・直轄国道 (直轄高速除く)

被災による通行止め:なし



(2) 河川

- ・国管理河川では点検が完了し、3 水系 8河川※91箇所では堤防天端のクラックなどの被害を確認。これ以外の国管理河川は被害無し。
- ・被害を確認した箇所の内、250mにわたり堤防の沈下や亀裂、はらみ出しが生じた球磨川堤防で緊急的に応急復旧工事を実施中。その他の箇所は応急対策に順次着手。

(3) 港湾

- ・八代港では、公共岸壁全てが被災し、岸壁背後の段差、液状化、陥没等が発生。
- ・耐震岸壁については29日に応急復旧、コンテナ岸壁については30日に港湾空港技術研究所等の調査官の助言を得て利用可能と判断。それぞれ海上保安庁や海上自衛隊の船舶が着岸し、支援物資の輸送、給水を実施。

○道路交通マネジメント

- ・災害発生時における道路交通の確保と円滑な交通マネジメントの実現のため、関係機関が連携し、九州地方整備局が中心となり「熊本県災害時交通マネジメント検討会 (令和8年熊本地震)」を実施。
- ・8月9日の週に、九州道宮原SAから坂本PA間の緊急車両の通行が可能となる見込み。
- ・8月後半には、一部通行制限を伴うが、九州道全線で一般車両の通行も可能となる見込み。
- ・路面の損傷が激しい箇所において舗装修繕工事を行うため、国道3号 (氷川町大野～八代市岡町中) で8月4日～8月7日の夜間に片側交互通行規制を実施。
- ・8月3日午前7時までに八代鏡宇土線 (県道14号) の倒壊建築物の撤去が完了し、同時に国道3号 (宇城・八代地域) の迂回路として、交通集中の分散を図っています。(迂回路看板により誘導)
- ・渋滞対策として、引き続き、次の対応を行う。①幅広い情報提供 (道路規制情報、渋滞情報等について、道路情報板、各機関HP、SNS等により、広く情報提供する。) ②関係者間の協力 (今後の交通状況に応じて、交通マネジメント検討会で協力し、交通混雑を緩和するための迂回路の設定など、必要な対策を検討する。

国土交通省

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

令和 8 年 8 月 4 日
熊本河川国道事務所

道第 1 報

国道 3 号ピンポイント路面改善作戦
～主要 3 箇所 4 夜連続で集中修繕～
【夜間片側交互通行規制】

令和 8 年熊本地震の復旧工事により、宇城・八代地域の国道 3 号の通行は確保されているものの、路面亀裂や段差の進行により、平坦性（凸凹の度合いや滑らかさ）が損なわれており、通行車両の速度低下が発生しています。今回、路面の損傷が激しく、走行性が特に損なわれている箇所を対象に、集中的な舗装補修工事を行うため、国道 3 号（氷川町大野～八代市岡町中）で夜間片側交互通行規制を実施いたします。

工事中は、国道 3 号は片側交互により通行可能ですが混雑を避けるため、県道 14 号も迂回路としてご利用ください。（迂回路は別添図を参考にしてください）

皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

国道 3 号
（八代郡氷川町大野～八代市岡町中）
令和 8 年 8 月 4 日（火）～ 8 月 7 日（金）
夜間 22 時～翌朝 6 時 【片側交互通行規制】
【予備日】 8 月 8 日（土）

月	火	水	木	金	土	日
8月3日	8月4日	8月5日	8月6日	8月7日	8月8日	8月9日
	通行規制	通行規制	通行規制	通行規制	予備日	

※作業の進捗等により、交通規制予定日が変更になることがあります。

※規制の実施にあたりましては、道路情報板でお知らせします。

また、現地においては、交通誘導員の指示に従って通行をお願いします。

<問い合わせ先>

国土交通省 九州地方整備局 熊本河川国道事務所 熊本災害対策支部



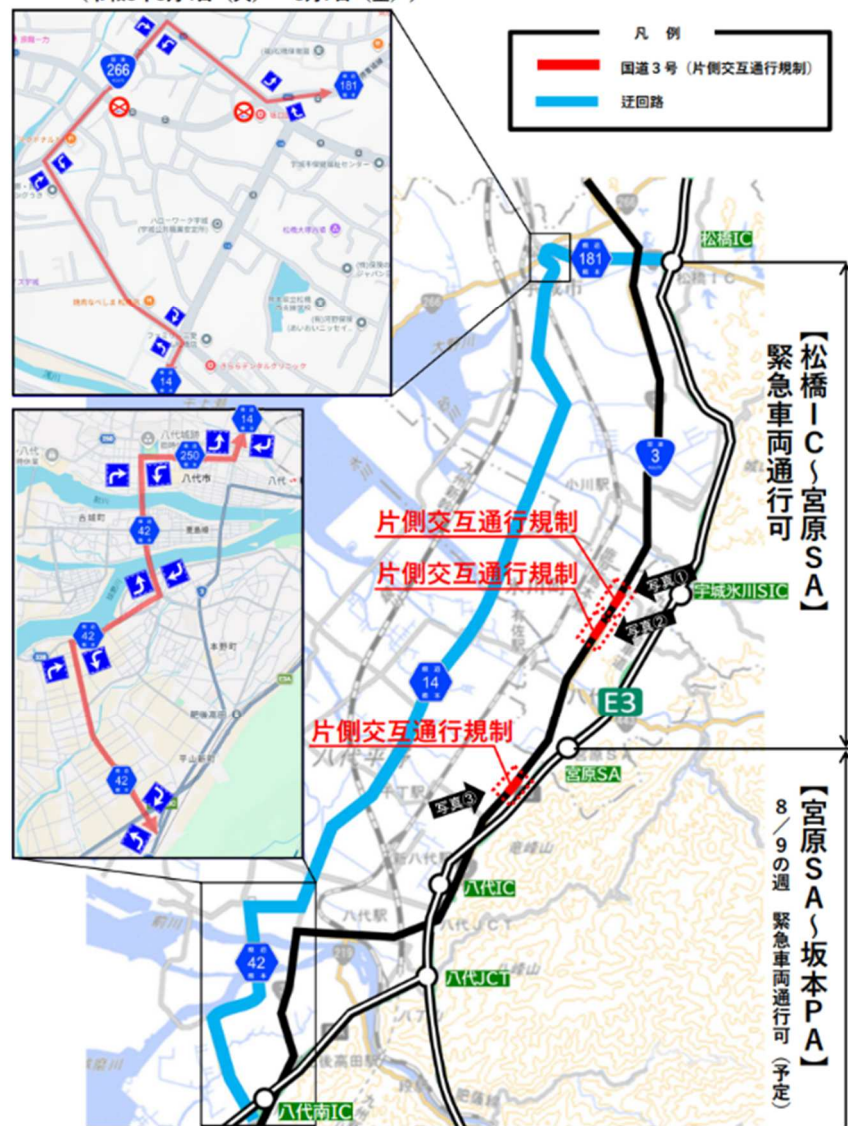
技術副所長 寺岡 岳彦
道路管理第一課長 山田 武司

〒861-8029 熊本県熊本市東区西原 1 丁目 12 番 1 号 電話：096-382-1111（代表）

国道 3 号片側交互通行規制（22：00～6：00）予定

別添図

（令和 8 年 8 月 4 日（火）～ 8 月 7 日（金））



○通れるマップ (高速道等の通行可能情報)

令和8年度熊本地震の通れるマップを国交省HPで公表中

＜URL＞<https://www.mlit.go.jp/road/saigai/r8kumamoto/index.html>



■被災者支援

○応急給水

- ・「現地応急給水支援本部」において、国土交通省の現地派遣職員が日本水道協会と連携し、自衛隊等による給水活動とも調整しながら、避難所・医療機関に加え、新たに福祉施設などの重要施設における給水ニーズを把握し、優先度を踏まえ応急給水を実施。引き続き、自衛隊の協力や、巡視船等からの給水により、応急給水の量や頻度を向上。
- ・給水車 合計198台 (国 18台、日本水道協会 110台、自衛隊 70台)
- ・水資源機構が保有する可搬式浄水装置について設置し、本日11:00より稼働開始。
(熊本市において断水解消。引き続き、熊本県の4自治体において約44,000戸が断水中。)



○上下水道の復旧見込み

- ・8月末までに断水解消見込み、下水道の応急復旧作業完了見込みである旨、本日公表。

水道

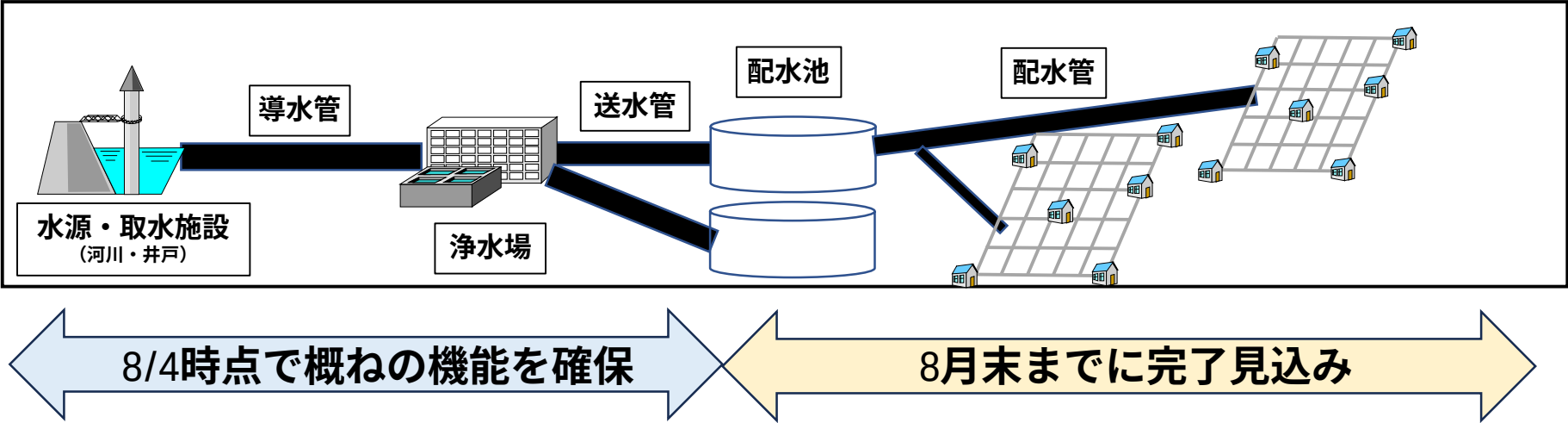
- 水道については、発災後、最大で約108,000戸が断水する状況となりましたが、国土交通省及び日本水道協会より水道技術者を全国から派遣し、点検・応急復旧作業を進めており、現在、断水戸数は約44,000戸（八代市、宇城市、甲佐町、氷川町）まで減少しています。
- 今後の復旧見込みは以下の通りです。

市町村	地区	断水解消見込み
八代市	旧八代市地区	8月末
	日奈久地区	8月中旬
	鏡町・千丁町・東陽町・泉町	8月末
宇城市	松橋地区	8月末
	小川地区	8月末
	豊野地区	8月末
	不知火地区の一部	8月末

市町村	地区	断水解消見込み
甲佐町	船津地区	8月初旬
	南三箇地区	8月初旬
	中山地区	8月初旬
	津志田地区	8月初旬
	有安地区の一部	8月初旬
氷川町		8月末

※避難所、医療機関、福祉施設等の重要施設につながる管路については、上下水道一体で優先的に復旧を図る。

令和8年8月4日10時時点



発災 (7/28) 直後 8/4 8月末完了見込み

(応急復旧の流れ)



被災自治体	調査・計画する職員が不足	工事設計・監督職員が不足 工事業者が不足
国土交通省 日本水道協会	↑ 応援 全国の自治体 (先遣隊+本調査)	↑ 応援 全国の自治体+工事業者

下水道

- 下水道については、国土交通省、全国の自治体※、日本下水道事業団より下水道技術者を派遣し、5自治体（熊本市、八代市、宇城市、宇土市、氷川町）において点検・応急復旧作業を進めており、作業終了の見込みは以下の通りです。

※日本下水道協会の全国の相互支援ルールに基づき派遣

- 上記5自治体の下表に示す地区以外は、下水道が使えることを確認済みです。

市町村	地区	見込み
熊本市	熊本市北区の一部	8月初旬
八代市	旧千丁町、旧鏡町	8月中旬
	旧八代市	8月中旬
	新八代駅周辺地区	8月中旬
宇土市	宇土市街地	8月中旬
宇城市	旧小川町	8月中旬
	旧松橋町、旧不知火町	8月中旬
氷川町	旧竜北町	8月末
	旧宮原町	8月末

■被災者支援

○船舶等による直接的な給水スポットとしての活動

- ・地方整備局・海上保安庁の船舶による給水・入浴支援の場所・時間等が一目で分かるよう、SNSを活用した情報発信を実施中 (毎日更新)。
- ・八代港において、8/3 (月) までに約241トン、本日8/4 (火) に約9.8トン (12:00時点) の給水支援を実施。
- ・三角港において、8/3 (月) までに約223トン、本日8/4 (火) に約12トンを給水 (12:00時点) の給水支援を実施。

○入浴支援

- ・八代港において、8/1 (土) から計788名への入浴支援を実施。
- ・三角港において、7/30 (木) から計461名への入浴支援を実施。

○緊急物資輸送

2次輸送 (県→市町村の拠点輸送) は県トラック協会が輸送を手配中。3次輸送 (市町村→避難所等) については各自治体が運送事業者のサポートも得ながら対応中。

○台風対応支援

(一社) 日本建設業連合会を通じて土嚢袋約20万袋、ブルーシート約5千枚を調達。
本日、8市町 (宇土市、宇城市、美里町、菊陽町、山都町、八代市、氷川町、上天草市) へ輸送開始。
あわせて、ブルーシートを設置するための人的支援について (一社) 熊本県建設業協会と協議中。

令和 8 年熊本地震に係る災害派遣について

※ 数値等は全て速報値のため、
今後変更される可能性があります。

概 要

- 令和 8 年 7 月 28 日（火）1627 頃、熊本県熊本地方を震源とする最大震度 7 の地震が発生。
- 同日（28 日）1730、熊本県知事から陸自第 8 師団長（北熊本・熊本）に対し、情報収集、人命救助、物資輸送、生活支援等に係る災害派遣要請があり、同時刻受理。
- 昨日（3 日）、陸自第 8 師団を中心とする自衛隊員約 5,100 名態勢で活動。

【主な活動部隊等】

陸自第 8 後方支援連隊（北熊本・熊本）、陸自第 4 2 即応機動連隊（北熊本・熊本）、陸自第 8 特殊武器防護隊（北熊本・熊本）、陸自第 8 高射特科大隊（北熊本・熊本）、陸自第 5 地对艦ミサイル連隊（健軍・熊本）、陸自第 8 飛行隊（高遊原・熊本）、陸自第 8 施設大隊（川内・鹿児島）、陸自西部方面特科連隊（北熊本・熊本）、陸自第 4 3 普通科連隊（都城・宮崎）、陸自第 1 2 普通科連隊（国分・鹿児島）、陸自第 8 通信大隊（北熊本・熊本）、海自艦艇 2 隻（えんしゅう、くにさき）、空自第 5 航空団（新田原・宮崎）、空自西部航空警戒管制団（春日・福岡）、空自第 1 輸送航空隊（小牧・愛知）、空自第 3 輸送航空隊（美保・鳥取）等

【輸送活動】

- 陸自第 8 後方支援連隊が、福祉施設等へのペットボトル飲料水の輸送を実施。
- 経済産業省と連携し、空自第 1 輸送航空隊の C-130×2 機と空自第 3 輸送航空隊の C-2×1 機により、空自小牧基地から、陸自高遊原分屯地へ水再生型シャワーの輸送を実施。

【給水支援活動】

- 八代市や宇城市をはじめとする市町の計 50 箇所において、給水車 87 両により、引き続き給水支援活動を実施。

【入浴支援】

- <熊本市（1 箇所）>
 - 陸自第 8 後方支援連隊
・火の君文化センターにて陸自がシャワーによる入浴支援を、午後 6 時から午後 10 時まで実施。
- <宇城市（2 箇所）>
 - 海自多用途支援艦「えんしゅう」、海自呉入浴支援隊
・三角港緑地公園にて、シャワーと浴槽による入浴支援を、午後 3 時から午後 10 時まで実施。「えんしゅう」内で洗濯支援、健康相談、充電支援を実施。
 - 陸自第 8 後方支援連隊
・小川防災拠点センターにて、シャワーによる入浴支援を、午後 5 時から午後 11 時まで実施。
- <八代市（1 箇所）>
 - 海自輸送艦「くにさき」及び「くにさき」内、海自佐世保入浴支援隊
・八代市の八代岸壁にて、シャワーと浴槽による入浴支援を、午後 3 時から午後 10 時まで実施。「くにさき」内で洗濯支援、健康相談、充電支援を実施。キッズスペース設置済み。
- <氷川町（1 箇所）>
 - 空自第 5 航空団、空自西部航空警戒管制団
・氷川中学校にて、水再生型シャワーによる入浴支援を、午後 4 時から午後 8 時まで実施（男性：1600～1800、女性：1800～2000）

【連絡員の派遣状況】

- 熊本県庁等に、最大 11 箇所・延べ約 34 名派遣。

活動の様子（8 月 3 日）



福祉施設へペットボトル飲料水を
輸送する隊員 ※8/2撮影



【熊本空港】空自 C-2 から
シャワーセットの荷下ろし



給水をする隊員 ※8/2撮影



【宇城市】小川防災拠点センター
での入浴支援準備



【八代市】入浴支援 ※8/1撮影



【氷川町】入浴支援 ※8/2撮影

昨日
（3 日）
の
自衛隊の
主な活動